

「現場に役立つ日本語教育研究」全6巻 完結記念

シンポジウム

現場に役立つ 日本語教育研究 経験からデータへ

2024/ 3/23 (土) 14:00-17:00

聖心女子大学 4号館ブリットホール ※対面のみ

主催 データに基づいた日本語教育のための語彙・文法研究会

参加無料 ※要事前申込

「現場に役立つ日本語教育研究シリーズ」の全巻が完結しましたので、完結記念のシンポジウムを行います。このシリーズの1巻・2巻では、文法シラバス・語彙シラバスがどうあるべきかを論じ、3巻・4巻では、「書く」「話す」をどのように教えるかを論じました。そして、5巻・6巻では、機能語と実質語に関する教材の作成方法を示しました。このシリーズでは、いずれの巻においても、「教師の勤や経験」を排し、コーパスなどのデータに基づいて分析をしています。今回のシンポジウムでは、各巻の編者全員と監修者が登壇し、このシリーズの内容を紹介するとともに、それぞれの巻の続きを書くならどのようなことを書くのか、という未来の話もします。日本語教育を「科学」にしたい！という我々の考え方に共鳴してくださる方、ぜひとも、積極的にご参加ください！！

シリーズ監修 山内博之



登壇者



山内博之
実践女子大学文学部教授
シリーズ監修、第1巻 共編



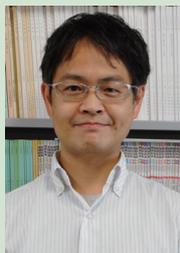
庵功雄
一橋大学国際教育交流センター教授
第1巻 共編



森篤嗣
武庫川女子大学教授
第2巻 編



石黒圭
国立国語研究所教授、一橋大学連携教授
第3巻 編



俵山雄司
名古屋大学言語教育センター准教授
第4巻 編



中俣尚己
大阪大学国際教育交流センター准教授
第5巻 編



岩田一成
聖心女子大学現代教養学部教授
第6巻 編

詳細・参加申込はこちらから

https://www.9640.jp/2024-03-23_g-symposium/



ウェブマガジン 連載中

日本語教育クイズ！ 経験からデータへ

